

# ポータブル電源★闇魔帳



大型機器も余裕で駆動  
ハイスぺックタイプ

Ecoflow  
EFDELTA

マルチに使える  
スタンダードタイプ  
Smart Tap  
PowerArQ2

常備車載にオススメの  
超コンパクトタイプ  
BELLOF  
QBC ALUMINIUM

目的&活用方法を  
電源選びを指南します！

いつでもどこでもUSB電源や家庭用AC電源が得られるポータブル電源は、キャンプなどのアウトドアシーンや車中泊はもちろん、非常用グッズとしても重宝するアイテム。大容量化および低価格化が進み、さらに身近になった最新ポータブル電源を改めてじっくりチェックしたいと思う。

まとめ：中井 隆 写真：和南城勝美

## 容量や使用目的で大きく3タイプに分類

人間が生きていくために最低限必要なものといえば、水や食料などいわゆる「衣食住」だが、文化的な生活を維持するためにはライフラインの確保も忘れてはならない存在である。とりわけ電気の重要性は、不幸にもこのところ続いている幾多の災害報道で身に染みている人も多いはずだ。涼しさや暖かさを求めるなら扇風機やヒーター、外部と連絡をとったり情報収集をするなら携帯電話やスマートフォンなど、いずれも電気が必要なアイテムばかり。そんなとき、

いつでもどこでも様々な電気製品が使えるアイテムとして重宝するのが「ポータブル電源」である。

これまで大容量のポータブル電源というと、エンジンなどで電気を発生させる発電機が主流だったが、騒音や二酸化炭素などデメリットが多かった。しかしリチウムイオンバッテリーの登場で、バッテリーのみでも十分な容量が得られるようになり、価格も年々リーズナブルになってきているのだ。そろそろ買い時と考えている人も多いことだろう。

そこで今一度、最新のポータブル電源についておさらいしてみよう。まず最近のポータブル電源は、容量や使用目的の違いから3

つのカテゴリーに分けることができる。まず、スマホ用のモバイルバッテリーを大型化。ジャンプスタートなどプラスアルファの機能を加えた「コンパクトタイプ」。そして500Wh前後の十分な容量で、価格も比較的リーズナブルに抑えた「スタンダードタイプ」、そして1000Wh以上の大容量で、複数機器の接続にも十分に耐えられる「ハイスぺックタイプ」である。サイズや価格帯も大きく異なり、使用目的もそれぞれ違うこの3タイプ。どれが自分の目的に合っているのかを、最新3モデルを代表例に検証してみた。